

このまちの100年

「藤沢」

戦前から醸造などの工業が発達し、戦後には多くの工場が進出、宅地化も進みました。藤沢駅周辺は湘南地域の商業の中心都市となり、近年は、再開発により大型商業施設なども誕生しています。



明治後期～大正期

藤沢駅。駅が開業すると、江の島道沿いは商業地として発展をはじめた



昭和戦前期

藤沢橋付近から南を望む。中央の道路は江の島道で、直進方向が藤沢駅や江の島方面となる



昭和4年

政財界の有力者も別荘を構えた鶴沼海岸別荘地



昭和36年

藤沢駅北口から北西に約400m続く商店街、藤沢銀座土曜会



昭和38年

にぎわう鶴沼プールガーデン。平成12年に営業を終えている



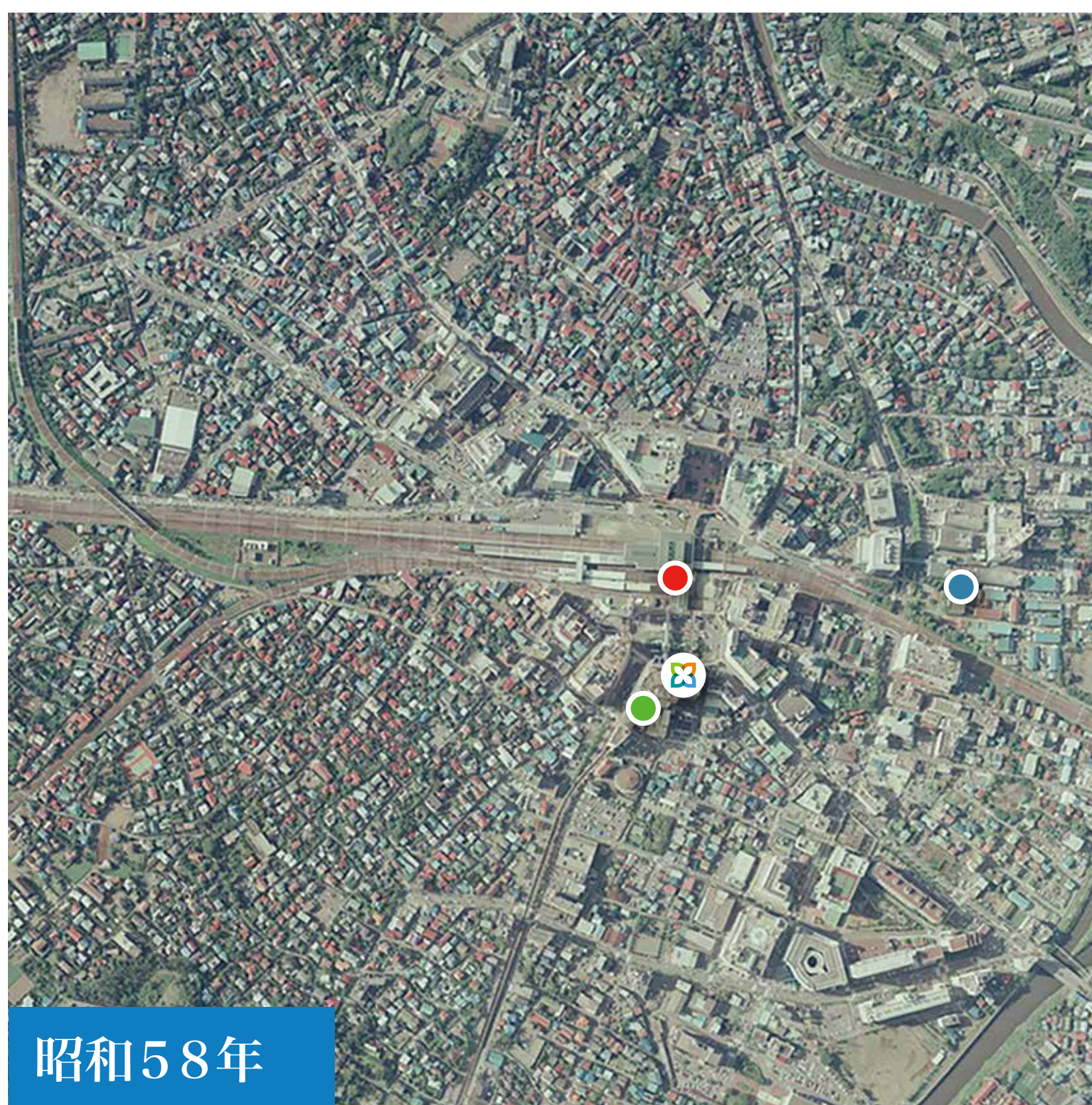
昭和46年

写真中央は江ノ電の駅舎で、当時は右上の小田急の改札、右の国鉄の改札と隣接していた

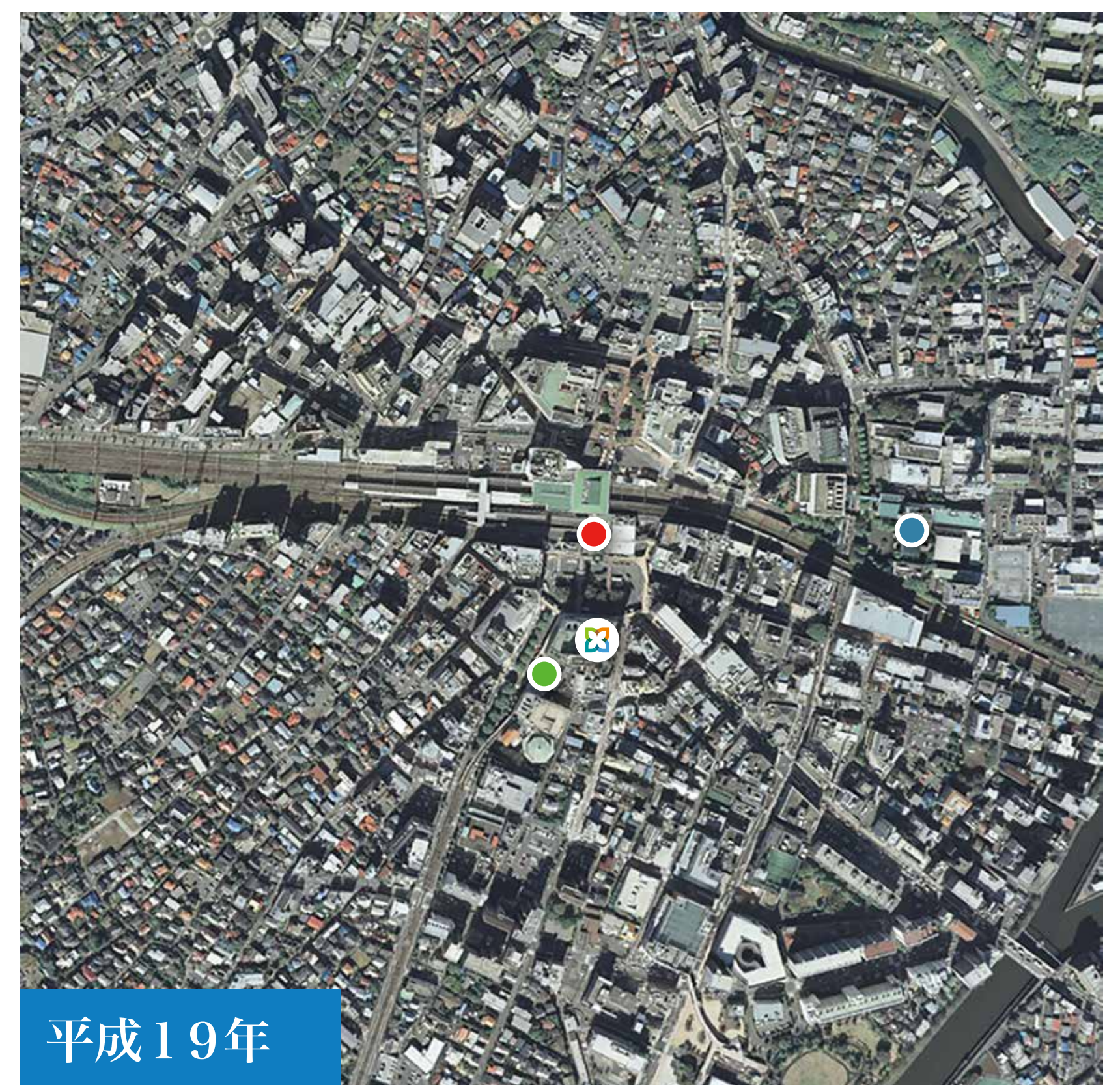
上空からみた藤沢エリア



昭和19年



昭和58年



平成19年

📍：現在地
📍：藤沢市役所 📍：藤沢駅（江ノ電） 📍：藤沢駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ